

開館カレンダー

4月の館内整理日は、
4月23日(木)です。



…休館日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

おはなし会

- あんころもち
対象：0～3才
日時：火曜 14時～
- 土曜日のおはなし会
対象：3才～
日時：土曜 14時～
- わ・わ・わぼっとで
おはなし会
対象：5ヶ月児～就学前児と
その保護者
日時：毎月第2水曜と最終日曜の
11時～
会場：子育て支援センター

♪ 雑誌付録プレゼントの当選者を発表します♪

当選者発表 3月4日(水)
図書館内にペンネームを掲示します!

プレゼント受け取り期間
3月4日(水)～3月25日(水)まで

2月に開催した雑誌付録プレゼントには、たくさんのご応募ありがとうございました! 当選された方は、上記の期間内にプレゼントを取りに来てくださいね♪

貸出ランキング (一般書編) 2019年1月～12月

- 1位 『沈黙のパレード』 東野 圭吾：著 文藝春秋
- 2位 『一切なりゆき』 樹木 希林：著 文藝春秋
- 『人魚の眠る家』 東野 圭吾：著 幻冬舎
- 4位 『未だ行ならず』上・下 佐伯 泰英：著 双葉社
- 5位 『マスカレード・ナイト』 東野 圭吾：著 集英社
- 6位 『蜜蜂と遠雷』 恩田 陸：著 幻冬舎
- 7位 『福岡 博多・天神 '19』 昭文社
- 8位 『コーヒーが冷めないうちに』 川口 俊和：著 サマーク出版
- 『コンビニ人間』 村田 沙耶香：著 文藝春秋
- 10位 『家中スッキリ片づく! 「つっぱり棒」の便利ワザ』 竹内 香予子：著 青春出版社

司書のひとりごと...

春の訪れを感じる頃となってきましたが、世界中で新型コロナウイルスの感染が問題となっています。日本でも各地に感染が拡大してきて、もう他人ごとではなくなっています。

マスクの着用や手洗いだけでなく、体に免疫力があれば、ウイルスをはねのけることができるそうです。免疫力 UP!の食材“ビタミンA・B・C(エース)”D を取り入れた食事をたっぷり摂って乗り切りましょう。図書館では「インフルエンザ・感染症対策」の本を展示して紹介しています。ぜひ、健康維持のために参考にしてくださいね。(M)

かしましみんとしよかんだより

みんと

- 鹿島市民図書館の正規職員を募集します
- 新着図書案内
- 冬の特大大おはなし会(報告)
- イラストレーターってどんな仕事?(報告)
- 館長コラム
- 雑誌付録プレゼントの当選者を発表します
- 貸出ランキング(一般書編)

2020年3月 220号

鹿島市民図書館の正規職員を募集します。

募集人員	鹿島市民図書館 正規職員 1名 (兼職可)	応募期間	2020年2月26日(水)9時～3月15日(日)17時 【エイブル開館時間】 火～金9時～22時、土・日・祝日9時～17時 *月曜 休館日
応募資格	①司書資格を有する者、あるいは、文化・教育的施設等に勤務経験のある人 ②明るく、コミュニケーション能力があり、接客業務が好きな人 ③パソコンを実務レベルで使用できる人 (Word・Excelなど) ④普通自動車免許(AT限定可)を所有している人	応募方法	市販の履歴書(A4版)に必要事項を記入して、3月15日(日)17時までに、当財団事務局(エイブル2階)に提出してください。 *郵送可 3月15日(日)必着 *受験票と一次試験の案内通知は、応募書類持参の場合は提出時にお渡します。郵便での応募の場合は3月19日(木)までに送ります。 *履歴書等の個人情報は、この採用試験の目的のみに使用します。
業務内容	①市民図書館における司書業務 (接客・レファレンス・選書等) ②各種事業の企画、運営、広報、総務 ③図書館の施設維持管理業務 ④その他、当財団に関する業務全般	採用方法	①3月22日(日)午前(適性検査・作文試験) 午後(面接試験) ②採用通知：3月27日(金)までに可否を通知します。
勤務場所	鹿島市民図書館(エイブル1階)	その他	次のいずれか1つに該当する人は、受験資格がありません。 ①成年被後見人または被保佐人 ②禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者
勤務時間	①月20日程度、週40時間程度 ②遅出および土、日、祝日の交替勤務あり *時間外勤務あり ・基本：8時30分～17時30分 ・遅出：10時30分～19時30分	給与他	(一財)鹿島市民立生涯学習・文化振興財団 (鹿島市生涯学習センター・エイブル2階) *担当：藤井 〒849-1312佐賀県鹿島市大字納富分2700-1 TEL (0954) 63-2138 FAX (0954) 63-3424 E-mail able1@po.asunet.ne.jp エイブルHP http://kashima-able.com/
雇用期間	2020年4月1日～2023年3月31日まで3年間(予定) *人事評価により更新があります。 (ただし、雇用後6ヵ月間は試用期間とします。)	問合せ先	

冬の図書館イベント、
『ウラケンさんに聞いてみよう! イラストレーターってどんな仕事?』
『冬の特大大おはなし会』には、たくさんのご参加ありがとうございました!
報告記事は次のページへ!!

鹿島市民図書館



一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
〒849-1312 鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル

http://www.library.city.kashima.saga.jp
TEL : (0954) 63-4343 FAX : (0954) 63-2217
2020年2月25日発行

新着図書案内

『ニッポンのはたらく人たち』

杉山 雅彦：著 パイインターナショナル



様々な業種で働く普通の人が、自分の仕事を誇らしくアピールした写真集。ほぼ合成なしの一発撮り！生き生きとした表情が働くことの楽しさを伝えます。

『武庫川女子大学 おとなダイエット教室』

武庫川女子大学栄養科学研究所栄養クリニック：著 幻冬舎

肥満を解消して毎日を健康に過ごすためには、どのように食べたらいいのかわかりやすく解説します。長いスパンで痩せていくというダイエット法なので、無理なく続けられます。生活習慣病の予防にも最適です！



『お札に描かれる偉人たち』

楠木 誠一郎：著 講談社



2024年(令和6年)に変わるお札のデザイン。新しいお札の肖像画のモデルとなる渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎は、いつの時代に何をした人たちなのでしょうか。そして今の日本に与えた影響とは…。3人の人生をたどります。

『雲を紡ぐ』

伊吹 有喜：著 文藝春秋

いじめが原因で学校に行けなくなった高校生・美緒の唯一の心のよりどころは、祖父がくれた赤いホームスピンのショール。壊れかけた家族は再生できるのでしょうか？羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「時を越える布」ホームスパンをめぐる親子三代の心の糸の物語。



『高齢者施設の費用・選び方・手続きのすべて』

岡本 弘子：監修 ナツメ社



相談窓口、費用、利用できる制度、種類と特長など、多様で複雑な高齢者施設・住宅を「自立者向け」と「要介護向け」に大別し、どのタイミングで住み替えるかに合わせて必要な情報を紹介。住み替えの進め方も解説します。

冬の特大おはなし会 (報告) 2020.2.1



図書館サポーターの子どもたちも大活躍！

大爆笑のマジックショー♪

2/1(土)に、エイブル1階いきいきルームで行いました。ボランティアの方2人と、子ども図書館サポーターとともに、約60人の参加者を迎えました。ボランティアの吉牟田さんは、絵本の読み聞かせとマジックショーを、藤川さんは子ども図書館サポーターと一緒に映像を使った読み聞かせで、楽しませてくれました♡
後半は、みんなで工作「うさぎとかめ」を作りました。作った後はみんなで遊んで、会場はとても盛り上がりました。
おみやげは、ネズミさんの動くカード！子ども図書館サポーターのみんなが作ってくれました！

知らなかったことがいっぱい★

ウラケンさんに聞いてみよう！
イラストレーターってどんな仕事？
(報告) 2020.1.18

1/18(土)に、鹿島市出身のイラストレーター「ウラケン・ボルボックス」さんをお招きし、エイブル3階研修室で行いました。イラストレーターという職業はどんな仕事なのかを語っていただきました。「図書館がウラケンさんにイラストを発注する」という形式で、仕事のやり取りのデモンストレーションも行い、参加者のみなさんは真剣な眼差しで聞いてくれました。イベント終了後には、最高に楽しかった、いっぱい学べたという感想がたくさん寄せられました！ウラケンさんの著書は図書館で借りることができます。ウラケンさん、これからも応援しています！
なお、鹿島市民図書館のために描いていただいたイラストは…次号で発表します！
どうぞお楽しみに☆

会場では本の貸出もしました。図書館にはイラストの描き方や職業に関する本がいっぱいあります♪

こんにちは、図書館長です！

『二十四節気(にじゅうしせっき)』

1年を24等分しその分割点に季節を表す名称を付したものを二十四節気と呼んでいます。ニュースや天気予報で、「大寒」、「啓蟄」、「冬至」などの言葉を耳にされた方も多いかと思います。もともとの発祥は中国で、そのため日本の季節とはズレている場合も多く、「夏の真っ盛りなのに立秋？」なんてこともしばしばです。現在では、ほとんど実用的な価値を失っていますが、旧暦(太陰暦)を用いていた時代は大変重用されていました。と言うのも、旧暦は月の運行周期に基づき暦を作っていましたので、暦と四季の周期との間にズレが生じていました。これは、農林水産業など季節に左右される業種では非常に重要な問題でした。そこで、太陽の運行周期を基に考案された二十四節気が重宝されていたのです。

日本では明治5(1872)年に、それまでの天保歴(旧暦)からグレゴリオ暦(太陽暦)への改暦がなされました。天保歴では、1か月が29日の月(小の月)と30日の月(大の月)しかありません。従って、1年は354日となり、太陽暦の365日より11日も短くなります。そこで、約3年毎に

閏月を挿入、つまり1年を13か月にすることでズレを解消していました。ただし、この閏月の挿入の仕方に明確なルールはなく、できるだけ暦と季節のズレを無くすよう、例えば7月と8月の間に閏7月として入れ込む場合もあれば、10月と11月の間に閏10月を入れ込む場合もあったそうです。従って、旧暦による正月(旧正月)も年によって異なり、最大で約1か月ズレることもありました。旧暦を用いていた時代、年齢は数え年でカウントしていましたが、このような事情で実際の誕生日が正確性に欠けていたからかも知れませんね。ちなみに、中国や韓国では今でも数え年で年齢を表記する場合があります。

令和2年の立春は2月4日。今冬は例年になく暖冬なので、梅の開花も早いかも知れません。春の訪れとともに図書館も賑やかになることと思います。職員一同、皆さんのお越しをお待ちしております。



図書館長 前田英明